



東京理科大学理学研究科物理学専攻主催
特別シンポジウム開催のお知らせ

「物理学と量子情報」

入場無料
(要事前申込)

日時 2018年8月11日(土)14:00~16:30
場所 東京理科大学神楽坂キャンパス 2号館211教室
対象 本学教職員・学生および一般の受講希望者(要事前申込)

本学理学研究科物理学専攻の蔡兆申教授による「超伝導巨視的量子状態での量子コヒーレント操作の実現」、「巨視系での量子エンタングルメント状態の創生」、「固体素子初の量子論理演算の実現」などの量子情報分野での功績に対し、2018年度の紫綬褒章が授与されました。物理学専攻ではこの授章を記念して蔡教授の研究に関係の深い分野の研究者を講演者としてお招きし、特別シンポジウムを開催したいと思います。

量子情報は理学・工学・情報学などをまたぐ学際的分野ですが、量子力学の原理を利用することから物理学とは特に密接な関連があります。本シンポジウムではこの物理学の視点から、量子情報技術のこれまでの進展と今後の発展について議論していきます。



蔡兆申教授

講演予定者

山本喜久氏

スタンフォード大学名誉教授
革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)
プログラムマネージャー

根本香絵氏

国立情報学研究所教授
量子情報国際研究センター長

中村泰信氏

東京大学先端科学技術研究センター教授
理化学研究所チームリーダー

蔡兆申氏

東京理科大学教授
理化学研究所チームリーダー

お申し込み方法

以下のEメール宛に氏名・電話番号を明記の上、参加希望をする旨をお知らせください。確認のメールを返信します。定員に達した場合には申し込みを締め切りますので予めご了承ください。

qi@rs.tus.ac.jp